

イネヒメハモグリバエの産卵数が多い傾向

～発生状況を確認して、被害初期に防除してください～

1. 現在までの発生状況

5月4半旬に実施した水稲における沿岸部（19地点）のイネヒメハモグリバエ（イネミギワバエ）の巡回調査では、74%の地点で産卵が確認され、要防除水準（株当たり卵数が1.5個又は産卵株率が50%）を超えるほ場も複数確認された（表-1）。

株当たり卵数は平均0.60個で、過去に注意報を発表した3か年（2013～2015年）の平均（0.97個）より少ないが、2016～2022年の平均（0.13個）と比較して多かった（表-1）。同様に産卵株率は平均13.2%で、注意報を発表した3か年の平均（27.4%）より低い、2016～2022年の平均（5.7%）と比較して高く、全県の発生量が多い傾向にあると予想される。

仙台管区气象台から5月18日に発表された1か月予報によると、向こう1か月の気温は高い、降水量、日照時間はいずれもほぼ平年並と予報されているが、今後、幼虫による被害が急激に拡大したり、産卵数が増加する可能性があることから注意が必要である。

2. 防除対策

1) 発生状況の確認

- ① イネヒメハモグリバエの産卵数はほ場間差が大きいため、ほ場をよく観察して発生状況の把握に努める。特に早植えや遅植えのほ場で産卵数が多くなる傾向がある。
- ② 卵は白色で長さ0.7mmの長楕円形、深植えや深水により水面に浮いた葉身の葉脈に沿って産み付けられる（図-1）。
- ③ 幼虫は乳白色のウジでふ化後ただちに葉肉内に潜入し食害するため、発生が多い場合は葉が枯死する（図-2）。

2) 産卵数が要防除水準を超えるほ場では、以下の防除対策を行う。

- ① 平均気温が15℃の場合、卵は7日前後でふ化するので、幼虫による食害が見え始めたらトレボン粉剤DLを10a当たり3kg散布又はトレボン粒剤を10a当たり2～3kg水面施用するか、シミチオン乳剤2,500倍液又はエルサン乳剤2,000倍液を10a当たり100L散布し、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- ② ただし、床土混和又は播種時覆土前～移植当日にスタウトパディート箱粒剤、ルーチンデュオ箱粒剤、ルーチンパンチ箱粒剤、播種時覆土前にファーストオリゼパディート粒剤、播種時覆土前～移植当日にヨーバル箱粒剤のいずれかを使用した場合や、移植3日前～移植当日にデジタルミネクト箱粒剤、ブイゲットグランドオンコル粒剤、ブイゲットフェルテラ粒剤、プリンス粒剤、リディア箱粒剤、ルーチンアドスピノ箱粒剤、Dr.オリゼフェルテラ粒剤、ガードナーフロアブルのいずれかを使用した場合、あるいは、移植当日にグランドオンコル粒剤、ゼロカウント粒剤、パディート箱粒剤、フェルテラ箱粒剤のいずれかを使用した場合は、本種に有効なので、あらためて①の防除をする必要はない。

3. 資料

表-1 イネヒメハモグリバエの株当たり卵数及び産卵株率の年次比較(5月中下旬調査)

調査地点名	卵数/株			産卵株率(%)		
	2023年	2013~2015年* 平均	2016~2022年 平均	2023年	2013~2015年* 平均	2016~2022年 平均
八峰町八森	0	0.91	0.24	0	24	9.0
八峰町峰浜	0	1.51	0.01	0	26	0.4
能代市上関	1.14	0.93	0.12	45	28	6.3
能代市二ツ井	0.06	0.12	0.05	2	7	3.0
三種町八竜	0.02	0.68	0	2	19	0
三種町琴丘	0.12	0.12	0.02	5	6	1.7
五城目町	0.04	0.93	0.04	2	37	2.3
大瀧村	0	1.26	0.01	0	38	0.5
井川町	0.22	0.30	0.02	8	17	1.4
秋田市金足	0.24	2.35	0.14	18	63	6.0
秋田市上新城	1.42	1.27	0.15	52	42	8.4
秋田市下浜	0.35	2.44	0.28	17	38	11.1
由利本荘市岩城	7.52	0.18	0.82	89	7	20.7
由利本荘市大内	0.16	1.20	0.09	6	37	12.4
由利本荘市本荘	0	0	0.03	0	0	2.0
由利本荘市由利	0.05	0.53	0.03	3	22	1.7
由利本荘市矢島	0	1.27	0.01	0	33	0.9
にかほ市平沢	0.01	0.07	0.08	1	6	4.1
にかほ市象潟	0.02	1.37	0.30	1	40	13.0
平均	0.60	0.97	0.13	13.2	27.4	5.7

注1: *は注意報発表年

注2: 要防除水準は株当たり卵数1.5個又は産卵株率50%

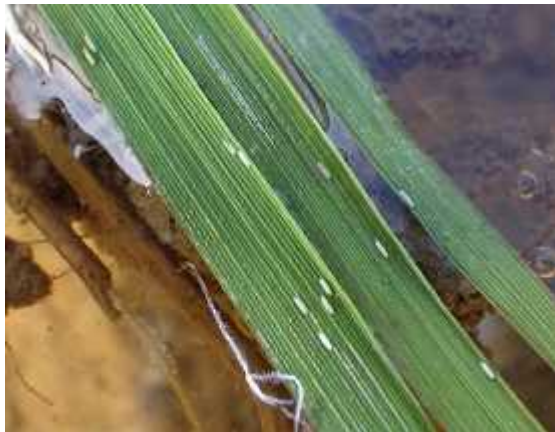


図-1 イネヒメハモグリバエの卵



図-2 イネヒメハモグリバエ幼虫の食害による葉の枯死

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326
 掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>